

The Combination of Nucleotide Analog Therapy and Steroid Pulse Therapy for Acute HBV Infection Effectively Promotes HBV Clearance

合谷, 孟

<https://hdl.handle.net/2324/4784517>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (医学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : (c) 2021 by the authors. Licensee MDPI, Basel, Switzerland. This article is an open access article distributed under the terms and conditions of the Creative Commons Attribution (CC BY) license.

(別紙様式2)

氏名	合谷 孟
論文名	The Combination of Nucleotide Analog Therapy and Steroid Pulse Therapy for Acute HBV Infection Effectively Promotes HBV Clearance
論文調査委員	主査 九州大学 教授 山浦 健 副査 九州大学 教授 林 哲也 副査 九州大学 教授 田尻 達郎

論文審査の結果の要旨

B型急性肝炎は一定の頻度で急性肝不全へと進行し、現在も適切な治療法は確立していない。核酸アナログ (nucleotide analogue: NA) とステロイドはB型急性肝炎の治療法の選択肢であるが、その治療効果については不明な点が多く、特にHBVのウィルス排除に関する効果については不明である。申請者は今回HBVのウィルス排除への効果を明らかにするために、NAとステロイドパルス治療 (steroid pulse therapy: SPT) の併用療法 (NA + SPT) と核酸アナログ単独療法 (NAM) の治療効果を比較検討した。2007年5月から2018年12月の間にB型急性肝炎で入院した57名の患者のうち、HBVの排除の有無まで経過を追えた25名の患者を対象とした。NAとSPTの施行の有無によって25名の患者を、NAM群とNA + SPT群の2群に分けて両群を比較した。10人がNAM、15人がNA + SPTの加療を受けた。ステロイドパルス治療に関連した有害事象は観察されなかった。HBs抗原とHBV-DNAの排除までの期間はNA + SPT群で有意に短かった (HBs抗原: NAM群 vs. NA + SPT群: 76 (43-116) days vs. 26 (14-51) days, $p = 0.0418$. HBV-DNA: NAM群 vs. NA + SPT群: 180 (83.5-220) vs. 69 (43-136) days, $p = 0.0420$)。NA + SPTのNAMに対するハザード比はHBs抗原で0.45、HBV-DNAで0.35だった。以上の結果から、NA + SPTがHBVの排除を促進すると考えられ、HBV感染の遷延化を危惧することなくB型急性肝炎に対してNA + SPTを使用することを支持するものである。

以上の成績はこの方面の研究の発展に重要な知見を加えた意義あるものと考えられる。本論文についての試験はまず論文の研究目的、方法、実験成績などについて説明を求め、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行ったが適切な回答を得た。なお本論文は共著者12名であるが、予備調査の結果、申請者が主導的役割を果たしていることを確認した。

よって調査委員合議の結果、試験は合格と決定し、博士 (医学) の学位に値すると認める。